

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月30日

計画の名称	都市活力の向上を支援する“富士”のみちづくり												
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	富士市												
計画の目標	広域交通拠点である新幹線駅及び東名・新東名ICと地域拠点間のアクセス性を向上させることにより、人・物の広域交流を促進させ、まちの魅力向上や産業の活性化など都市活力の向上を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,743	A	1,743	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	新幹線駅及び東名・新東名ICと地域拠点間の移動円滑化率を6%から40%に向上させる。 ・新幹線駅及び東名・新東名ICと地域拠点間の移動円滑化率 移動円滑化率(%)=(移動円滑化された道路延長/移動円滑化が必要な道路延長)×100	6%	%	40%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村道	改築	(他)柳島広町8号線	バイパス L=619m	富士市	■	■	■	■	■	254		—	
	A01-002	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村道	改築	(1)新富士インター城山線	バイパス L=1,500m	富士市	■	■	■	■		746		—	
	A01-003	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村道	改築	(1)一色小沢3号線	バイパス L=1,196m	富士市	■	■	■	■	■	187		—	
	A01-004	街路	一般	富士市	直接	富士市	S街路	新設	(都)左富士臨港線(青葉台工区)	道路新設 L=425m	富士市		■	■	■	■	167		—	
		計画76から移行																		
	A01-005	街路	一般	富士市	直接	富士市	S街路	新設	(都)左富士臨港線(青葉台東工区)	道路新設 L=487m	富士市		■	■	■	■	389		—	
		計画76から移行																		
										小計						1,743				
										合計						1,743				

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富士市建設事業関連部署で構成する富士市道路事業評価委員会により事後評価を実施。	令和2年3月
	公表の方法 富士市ウェブサイトに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパス路として整備した柳島広町8号線が開通したことにより、柳島日東交差点の混雑が緩和し、新富士駅と地域拠点等へのアクセス性が向上した。 ・新富士インター城山線の整備により、県道富士富士宮由比線や富士白糸滝公園線の渋滞が解消し、また、新富士インターチェンジから工業団地へのアクセス時間が短縮された。 ・一色小沢3号線の部分供用に伴い、地域住民など歩行者の安全性が向上した。 ・左富士臨港線の部分供用に伴い、地域住民など歩行者の安全性が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

一色小沢3号線及び左富士臨港線については、令和元年度以降の計画においても継続して事業を進めており、早期供用できるよう進捗を図る。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	新幹線駅及び東名・新東名 I C と地域拠点間の移動円滑化率	
	最終目標値	40%
	最終実績値	61%
		<ul style="list-style-type: none"> ・（他）柳島広町 8 号線、（1）新富士インター城山線の完成のほか、（1）一色小沢 3 号線、（都）左富士臨港線の施工中の路線についても部分供用し、道路整備延長を増加することができたため。 ・新富士 IC より富士市外縁部の東西地区拠点を連結する天間清水久保 2 号線の部分供用することができた。 ※天間清水久保 2 号線は、交付金非充当路線

計画の名称	60 都市活力の向上を支援する“富士”のみちづくり	
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5箇年)	交付団体 富士市

【凡例】

当計画事業

